

八丈島の火山活動解説資料（平成 27 年 7 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 1）

楊梅ヶ原^{ようめがはら}遠望カメラ（西山山頂の南南東約 5 km）による観測では、西山山頂部に噴気は認められません。

- ・地震や微動の発生状況（図 2 - 、図 3）

八丈島付近を震源とする火山性地震は観測されず、地震活動は静穏に経過しています。

火山性微動は観測されていません。

14 日 12 時頃から 17 日にかけて、八丈島の北西沖を震源とする地震活動が活発となり、八丈町榎立などで震度 1 以上を観測する地震が 15 日に 5 回、16 日に 4 回、17 日に 2 回発生しました。この地震活動の震源は深く、島から離れています。また、その他の観測データには特段の変化は認められていません。そのため、現在のところ火山活動に直接つながるものではないと考えられます。

- ・地殻変動の状況（図 2 - 、図 4）

GNSS^注連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

注）GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 27 年 8 月分）は平成 27 年 9 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び東京都のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。



図1 八丈島 西山山頂部の状況
 （7月29日 楊梅ヶ原遠望カメラによる）

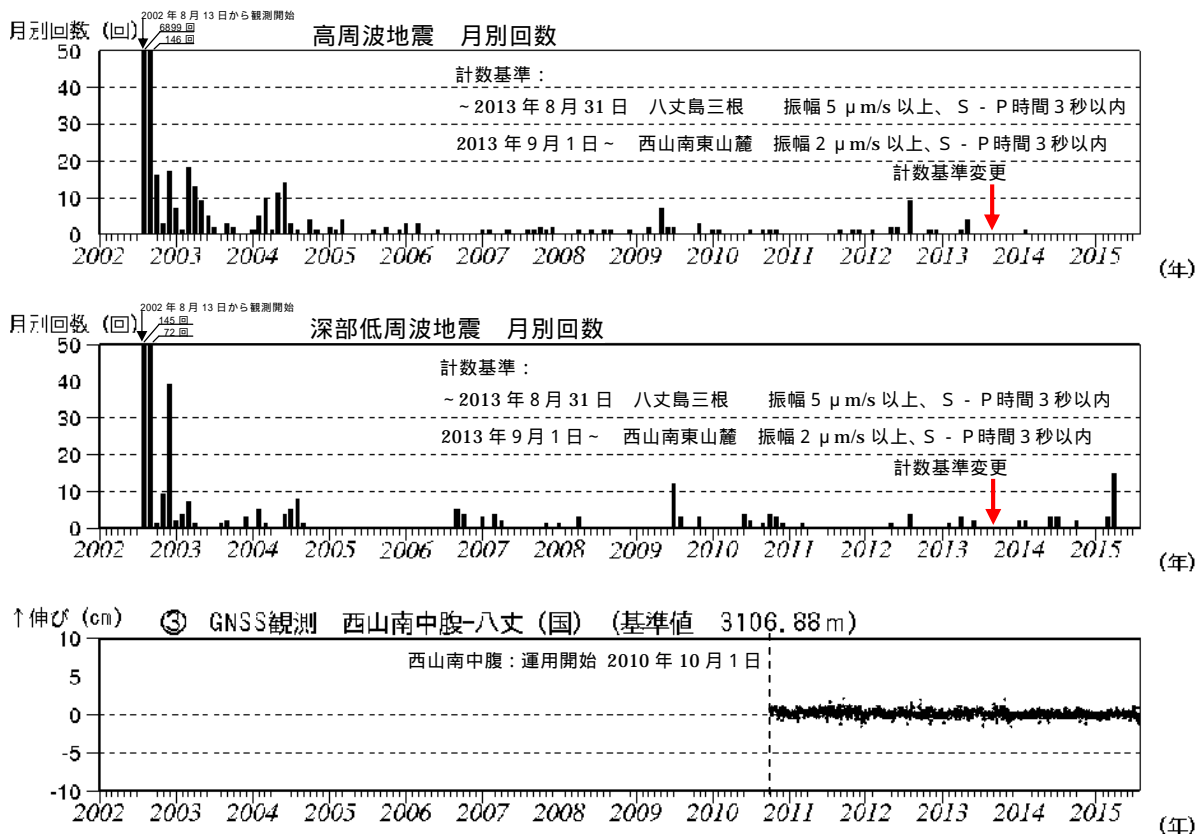


図2 八丈島 火山活動経過図（2002年8月13日～2015年7月31日）

月別地震回数

地震活動は静穏な状態で経過しています。

GNSS連続観測による基線長変化（国）：国土地理院

火山活動によると思われる変動は認められません。

は図4の に対応しています。

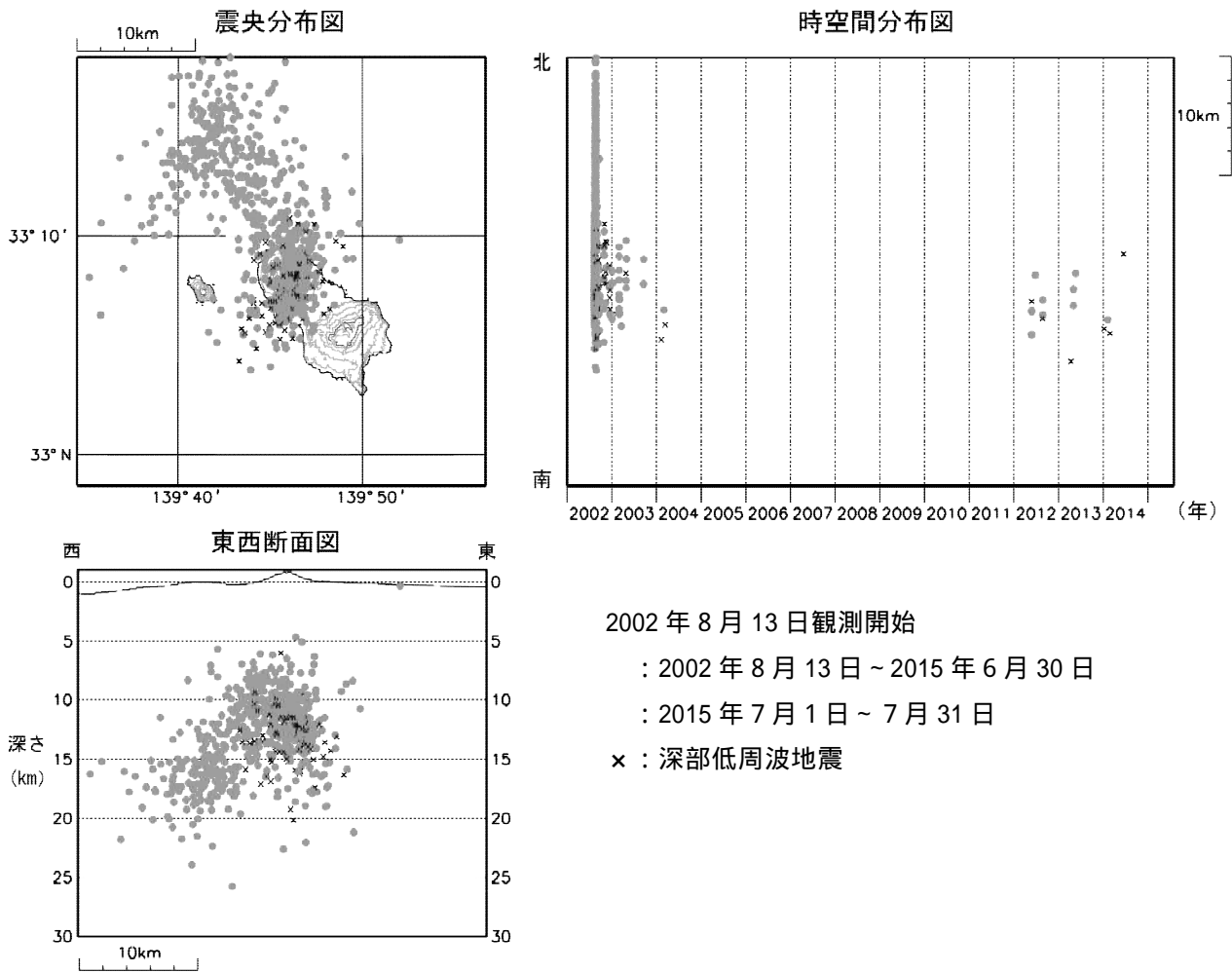


図3 八丈島 震源分布図(2002年8月13日~2015年7月31日)
 今期間、八丈島付近に震源が決定された高周波地震及び深部低周波地震はありませんでした。



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国)：国土地理院、(防)防災科学技術研究所、(都)：東京都

図4 八丈島 観測点配置図
 GNSS基線は図2のに対応しています。